

## 2009年度

科目名	応用プログラミング演習							
担当教員	小坂 暁幸							
配当	教福3		コード	42410				
開期	通年	講時	木曜日2限	単位数 4				
授業テーマ	コンピュータ業界で有名な言語「ビジュアルベーシック」を学習し、プログラミングの技術を体験する。							
目的と概要	<p>世界的に有名な「ビジュアルベーシック」言語を学習し、プログラミングの基礎を体験する。「VB言語」は、短い指令で実行する事ができ、5行や10行の入力で実行できる易しいプログラム言語。</p> <p>毎時間、パソコンで、1つか2つのプログラミング実習を行い、ゲーム感覚で学習する。「プログラミングや、プログラマーとは、どういうことをするのか」という実体験をして頂く。</p> <p>教科書は、入門書として、特別に易しく編集されている。簡易な練習問題集も使用する。</p>							
成績評価法	出席率(70%)と、リポート提出(30%)							
テキスト	学生のための VISUAL BASIC.NET 著者 若山 芳三郎 出版社 東京電気大学出版局							
参考書								
履修に 当たっての 注意・助言	<p>プログラマーの体験をして頂きます。</p> <p>自分がコンピュータの世界に合っているか、いなかを確かめて下さい。</p>							
<b>講義計画</b>								
1.ソフトウェア言語	<p>6.分岐処理</p> <p>1)構造化プログラミング 2)Ifステートメントによる分岐処理 3)Select Caseステートメントによる分岐処理</p>							
1)コンピュータの構成 2)ソフトウェアの構成 3)プログラミング言語の種類と特徴 4)Visual Basicの学習 5)MICRO SOFTの世界								
2.ソフトウェアの作成	<p>7.繰り返し処理</p> <p>1)For...Next制御構造による繰り返し処理 2)Do...Loop構造による繰り返し処理</p>							
1)設計からの稼動 2)プログラム作成から実行 3)プログラムの作成手順								
3.流れ図(フローチャート)	<p>8.配列の利用</p> <p>1)一次元配列</p>							
1)フローチャート 2)流れ図例								
4.Visual Basic.NETの概要	<p>9.プロシージャ</p> <p>1)サブルーチンプロシージャ 2)Functionプロシージャ</p>							
1)プログラムとプログラミングの言語 2)Visual Basic.NETの概要								
5.簡単なプロジェクトの作成	<p>10.コントロールの利用</p> <p>1)テキスト入出力のコントロール 2)ボタンによるコントロール 3)ピクチャボックスコントロール</p>							
1)文字の表示 2)プログラムの実行・終了・保存・開く 3)実行ファイルの作成 4)簡単な計算 5)変数の使い方 6)関数計算								
<b>11.総合演習</b>								
使用ソフトウェア VISUAL BASIC.NET								